

学校では男女混合名簿になります。
「男である」「女である」ことを意識させない教育が推進されます。



修学旅行も男女同じ部屋で楽しく。



男女別々の身体検査は区別です。



すでに徒競走や騎馬戦でも男女一緒に
行っています。



女のズボン、男のスカートも認めるなど
制服も男女の区別を取り除きます。

教科書や副教材などでは、女性の料理や掃除、
花壇の世話をしている姿は消えました。
「母の日」にエプロンをプレゼントすることも
良くないと言っています。

- 可愛い服装や名前の女の子
- 木登りをする男の子
- 野球部の女性マネージャー
- 良妻賢母りょうさいけんぼ

A. 男と女の一切の区別を止めます。

Q: 男女共同参画社会つてなくに?

これまでの文化や風習、風俗、芸術を排除します。

文部科学省が委嘱して作成した
「新子育て支援」のパンフレットで、
鯉こいのぼりやひなまつりを否定しました。



トイレも男女共用が望ましい
という広報・宣伝が始まっています。



男らしさや女らしさをテーマにした小説、
女の幸せは結婚と決めつけるような歌、
「男は仕事、女は家事」と役割分担した
童話も、男女共同参画の精神に反するとされます。

- 童話 「桃太郎」
小説 「坊ちゃん」
歌 「瀬戸の花嫁」 など

○×は「男女共同参画=男女性差否定」の観点からの是非を表わしています。あなたの常識や良識と合致していますか？

日本時事評論

編集・発行

(株)日本時事評論社

〒753-0811

山口市大字吉敷1112-1

TEL 083-928-0086

FAX 083-928-1113

編集部

TEL 083-932-6665

FAX 083-922-3167

購読料 年4,800円

振替口座01590-1-25226

「区別は差別」が男女共同参画の理念

平成八年七月の男女共同参画審議会答申で、性別による偏りのない社会の構築には、制度・慣行の見直し・検討が必要と提言。その根本理念は「区別は差別」という考えです。男女の区別を「掃する文化大革命が始まっています」。